

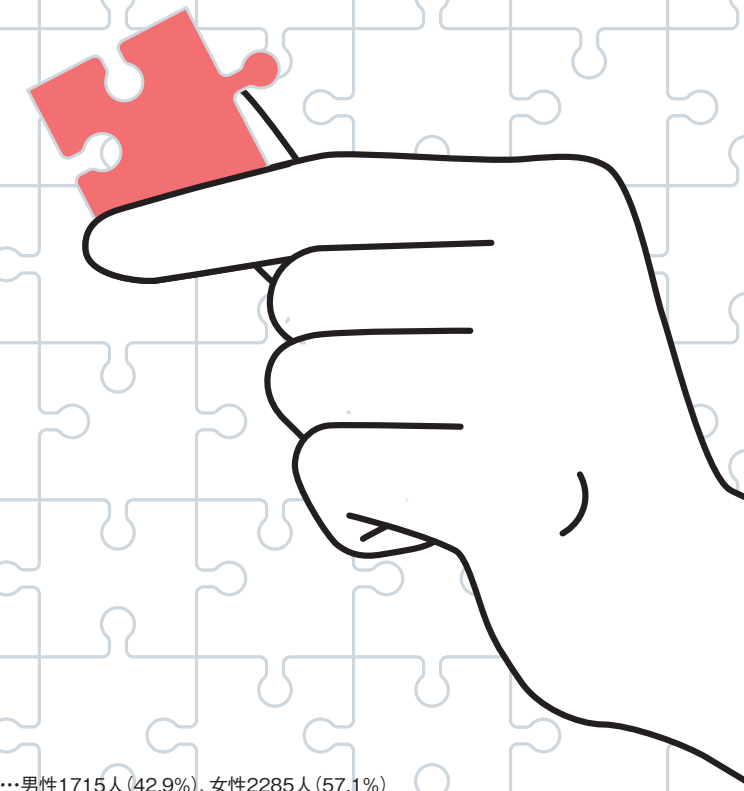
# スポットワーク 派遣スタッフにどう

# は映っているのか？

「スキマ時間に稼ぐ」は、派遣と両立？  
それとも競合関係？

短時間や1日限りなど、空いたスキマ時間に仕事をして報酬を得る「スポットワーク」。原則禁止の「日雇い派遣」とも比較されることの多い働き方であり、人材派遣という働き方との関係性においても、親和性の高い働き方なのか、それとも競合関係になりうる働き方なのか—など、気になる存在であるのは確か。それを確認するために、本誌は2024年9月、4000人の派遣スタッフに「スポットワークという働き方に興味があるか」、さらに「スポットワークで働いた経験があるか」などの実態調査を行った。

(本誌 伊藤秀範)



#### ■調査概要■

2024年9月11日～17日 ●有効回答数…4000人 ●男女比…男性1715人(42.9%)、女性2285人(57.1%)  
●年齢比…10代:1人(0.0%)、20代:213人(5.3%)、30代:614人(15.4%)、40代:1211人(30.3%)、50代:1325人(33.1%)、  
60代:573人(14.3%)、70代:63人(1.6%) ●雇用形態…有期雇用:2720人(68.0%)、無期雇用:1280人(32.0%)  
※回答率(%)は、小数点以下第2位は四捨五入により、小数点第1位までを表示しています。そのため、合計数値は100%にはならない場合があります。

図表2 性年代別

スポットワークという働き方に関心があるか。  
(回答は1つ) n=4000

	関心がある	関心がない
全体平均 n=4000	47.3%	52.7%
10代男性スタッフ n=1	100.0%	—
20代男性スタッフ n=56	76.8%	23.2%
30代男性スタッフ n=179	61.5%	38.5%
40代男性スタッフ n=464	50.6%	49.4%
50代男性スタッフ n=571	40.1%	59.9%
60代男性スタッフ n=390	29.7%	70.3%
70代男性スタッフ n=54	42.6%	57.4%
10代女性スタッフ n=0	—	—
20代女性スタッフ n=157	69.4%	30.6%
30代女性スタッフ n=435	55.4%	44.6%
40代女性スタッフ n=747	47.8%	52.2%
50代女性スタッフ n=754	45.5%	54.5%
60代女性スタッフ n=183	44.8%	55.2%
70代女性スタッフ n=9	22.2%	77.8%

※回答率(%)は、小数点以下第2位は四捨五入により、小数点第1位までを表示しています。そのため、合計数値は100%にはならない場合があります。

「スポットワークという働き方に関心があるか」の質問に対する、「関心がある」と「関心がない」それぞれの回答者にはすべて「その理由」を聞いており、その主な内容をキーワードで分類してある(113頁カコミ欄を参照)。

まずは「関心がある」と回答した派遣スタッフの主な「その理由」として、最も多かったのは、やはり「暇なスキマ時間に働きたい」というもの。

具体的には「派遣先の業務の関

「関心がある」スタッフのその理由



散期やスキマで働きたい(37歳女性・愛知・大手派遣・事務)、「時間を持って余す時があるから。年末年始など(40歳女性・愛知・中堅派遣・専門事務)などであり、派遣就労をしながら、空いたスキマ時間にもプラスαで働きたいというもの。

似たような「その理由」のキーワードとしては「時間を有効活用できる」というものもあった。

具体的には「時間を有効にでき、なおかつ予定を綺麗に隙間なく埋められるため、充実した1日に役立てられそう(26歳男性・埼玉・大手派遣・事務)、「1時間などの短時間でも有効に使いたいから」

単純に「稼ぐ」という目的だけでなく、スポットワークを自分のキャリア形成に役立てたい」という狙いから「関心がある」と回答した派遣スタッフも少なくはない。

関連する「その理由」のキーワード

「稼ぐ」だけでなく、キャリアにも活かしたい



(48歳女性・大阪・大手派遣・事務)など、こちらも派遣就労との併用を前提に、空いたスキマ時間を「働く」ことで有効活用したいというケース。

ードとしては「さまざまな仕事を経験できる」があり、具体的には「興味ある仕事に短期で挑戦できるから(46歳女性・大阪・大手派遣・テレマーケティング)」、「将来やりたい仕事を隙間時間で経験したい(55歳女性・東京・大手派遣・事務)」、「他の会社の働き方も見て視野を広げたい(56歳女性・島根・大手派遣・事務)」などがあった。

特に将来のキャリアチェンジ、副業などのパレルキャリアを志向する派遣スタッフにとって、そのきっかけ作り、あるいは品定めスポットワークをうまく活用するという「その理由」はポジティブに映る。

即日払いの「即時性」も魅力



派遣就労でスタッフ評の高い福利厚生の一つに、前払い、日払い、週払いなどの給与の前払い制度がある。

スポットワークに関してもバイト料の即日払いは、一部の派遣ス

# スポットワークという働き方への派遣スタッフの「関心度」は？

性年代・業種・職種での「スポットワークの関心度」の違いは？

「関心がある」人は47.3%



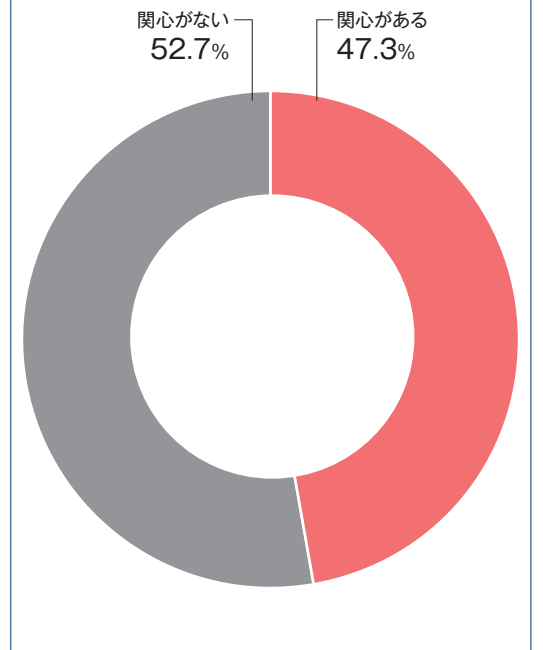
派遣スタッフを対象とした「スポットワークに関する実態調査」は、本誌において初の試みである。原則禁止の「日雇い派遣」に対する一部の派遣スタッフの根強いニーズも踏まえ、派遣スタッフ間における一定の支持率は予測可能であったが、実際のところはふたを開けてみなければ分からない。

4000人の派遣スタッフに「スポットワークという働き方に関心があるか」という質問をしたところ、「関心がある」と回答した人は47.3%、「関心がない」と回答した人は52.7%と、ほぼ半々の派遣スタッフが関心を示している様子がうかがえた。

性年代別では、「20代スタッフ」と「30代スタッフ」において「関心がある」の割合が男女ともに全体平均を大きく上回ったほか、母数の少ない「70代女性スタッフ」を除けば、「60代男性スタッフ」の29.7%以外のすべての性年代で「関心がある」の割合が4割を超えるという結果に。

スポットワークという働き方への認知度の高さとともに、幅広い世代における関心度の高さをうかがわせる結果となった。

図表1 スポットワークという働き方に関心があるか。(回答は1つ) n=4000



「専門事務」「販売接客」は5割超が「関心あり」



同じ「スポットワークという働き方に関心があるか」の質問への回答割合を、業種・職種別に示したのが、図表3である。

こちらを見ると、母数の少ない

「保育士」などを除けば、「専門事務」と「販売・接客」において、それぞれ5割を超える人が「関心がある」と回答している。

一方で、「IT・エンジニア」と「製造」の技術系はいずれも「関心がある」は3割台にとどまっている。

その理由としては後述する「関心がない」を選んだ派遣スタッフの「その理由」において最も多かった、短期のスキマ就労では「スキルアップにつながる」などの先入観、あるいは経験値も影響していると推察できる。